中央小だより

令和７年３月№１０
旭市立中央小学校
児童数　６３６名

If you can dream it , you can do it.

校長

「夢を描くことができるなら、それは実現できる。」これは、ウォルト・ディズニーの言葉だそうです。

ウォルトは、１９５５年にアメリカのカリフォルニア州に初めてのディズニーランドをオープンさせた時のスピーチで「私は「この新しい遊園地」が人々に幸福を与える場所、大人も子どもも、共に生命の驚異や冒険を体験し、楽しい思い出を作ってもらえるような場所であって欲しいと願っています。」と語っています。

新しい遊園地を生み出した、この大切な思想は、ウォルトが娘たちを遊園地に連れて行ったときの印象から生まれます。娘たちと行った遊園地でウォルトが見たのは、子どもたちが遊ぶのをベンチに座って眺めているだけの手持ち無沙汰な親たちの姿でした。「子どもと一緒に大人もワクワクしたり感動したり、子どもと感情を共有できる遊園地があったらいいのに。」

現代の「夢の国」は、ウォルトのこんな思いから生み出されました。

しかし、ウォルトは新しい遊園地を一人の力で実現させたわけではありません。自分の思いを伝え、その思いに共鳴する仲間と協力することで実現させたのです。

インターネットやスマートフォンが普及した現代では家族や友人との会話が減り、個人化が進んでいます。そうした人と人とのつながりの希薄化は、コロナ禍によって爆発的に加速しました。でも、どんなに時代が変わっても、人間にとって本当に大切なことはそんなに変わるわけではありません。

自分の思いを伝える。思いに共鳴する仲間と力を合わせる。ウォルトが夢の実現のために長い時間をかけて実践してきたことは、みなさんが中央小でたくさん経験してきたこととともつながっています。令和６年度のシーンからいくつか挙げるとすれば、圧巻だった運動会の応援合戦、笑いと感動の中央フェスティバルでの発表でしょうか。いずれも６年生の「思い」と「仲間の協力」があったから実現したシーンです。

ウォルトはこんな言葉も残しています。「『夢の国』は決して完成することはない。世界に想像力がある限り、永遠に成長し続ける。」６年生が今年度残した「思い」が後輩たちの中で生き続ける限り、中央小も成長し続けますね。

中央小を卒業するみなさんは、これから自分の夢を大いに描いてください。そして、仲間とつながり実現させてください。本気で描くことができた夢は、きっと実現します。

お知らせ

６年生を送る週間報告会

２月２８日（金）に、６年生を送る週間報告会を実施しました。

６年生との思い出作りのために、学年それぞれで色々な取組を行いました。

１年生は蛇じゃんけん、２年生はしおり作り、３年生は写真立て作り、４年生はドッジボール、５年生は報告会の運営とメッセージ作りを行いました。

６年生は、報告を見ながら下級生との活動を思い出し、終始笑顔でした。

最後に６年生も感謝の気持ちを込めて、美しい歌声を披露し、報告会を締めくくってくれました。

学力検査の実施

２月２０日（木）・２１日（金）に学力検査を実施しました。

１年間のまとめのテストに、子どもたちは一生懸命取り組んでいました。

結果は３月７日（金）に配付しました。

６年生 情報モラル教室

２月２７日（木）に、６年生が情報モラル教室を行いました。

旭警察の方を講師に招いて、パソコンやスマートフォンでインターネットを利用する時に注意することを教えていただきました。ＳＮＳの利用については、安易に情報を投稿したために個人が特定され事件に巻き込まれてしまうこともあるので、注意するよう話がありました。

６年生は、今までのスマートフォンなどの使い方について振り返っていました。

学校評価保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

１月１０日（金）～１月２０日（月）の期間に学校評価保護者アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。保護者の皆様から、率直なご意見を多数いただくことができました。ご意見をしっかりと受け止め、これからの中央小学校の教育活動に活かしてまいります。結果は、添付の別紙にてまとめましたのでご覧ください。

ホームページでも、今年度発行した学校だよりをご覧いただけます。
右のＱＲコードもご活用ください。
http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/index.html

令和６年度　学校評価集計結果

番号	項　目	小番号	1年・2年・3年 評価内容	割合	4年・5年・6年 評価内容	割合
1	確かな学力	1	べんきょうは、たのしいですか？	90.9%	毎日の授業は、楽しい。	83.2%
		2				
		3				
		4	じゅぎょうは、わかりやすいですか？	91.6%	毎日の授業は、わかりやすい。	91.3%
		5				
		6				
		7	べんきょうのじかん、「なんで？」とおもうことがありますか？	61.5%	学習の時間に、「なんで？」と思うことがある。	62.4%
		8	べんきょうのじかん、「なるほど」とおもうことがありますか？	85.8%	学習の時間に、「なるほど？」と思うことがある。	82.9%
		9	べんきょうしたことから、「ということは・・・。」とおもうことがありますか？	70.9%	学習したことから、「ということは・・・。」と思うことがある。	69.6%
		10	本をよむことはすきですか？	82.8%	本を読むことは、好き。	54.7%
		11	しゅくだいは、わすれずにやっていますか？	97.0%	家庭学習（宿題をふくむ）に、進んで取り組んでいる。	70.5%
		12	タブレットをつかってべんきょうすることはすきですか？	92.6%	タブレットを使って調べたり、発表したりすることは楽しい。	72.4%
2	豊かな心	13	じぶんからともだちや先生にあいさつをしていますか？	85.5%	自分から、友達や先生、地域の人にあいさつをしている。	82.0%
		14	ともだちのいやがることをしないように、きをつけていますか？	97.3%	友達のいやがることは、言ったりやったりしないように気をつけている。	88.5%
		15	じぶんのことをたいせつだとおもえますか？	94.9%	自分のことを大切だと思っている。	83.5%
		16	クラスのともだちは、みんなのことをたいせつにしようとしていますか？	98.3%	クラスの友達は、みんなのことを大切にしようとしている。	92.2%
3	健やかな体	17	たいいくや休みじかんは、すすんで体をうごかしていますか？	92.2%	体育の時間や、休み時間など、進んで体を動かしている。	75.5%
		18	あさごはんを食べていますか？	93.9%	朝ご飯を食べてから登校している。	91.9%
4	危機管理	19	とう校や下校には、こうつうルールをまもるように、きをつけていますか？	98.0%	交通ルールを守り登校や下校をしている。	95.3%
		20	ふしんしゃにあったとき、どうすればよいか、しっていますか？	93.9%	不審者に会ったとき、どうすればよいかわかっている。	96.0%
5	学校生活	21	いまのがくねんになって、じぶんでできることがふえていますか？	94.6%	今の学年になって、自分で考え、行動できることが増えている。	90.7%
		22	こまったことは、先生にはなすようにしていますか？	83.8%	いやなことやこまったことがあると、そのままにしないで、先生に話をするようにしている。	64.0%
6	特別支援	23				
7	家庭との連携	24				
		25				
		26				
		27				
8	地域学校協働活動	28				

学校評価アンケート結果について、「成果」と「課題」をお知らせします。

本校は、**「確かな学力をもち　心豊かでたくましい児童の育成　『なんで？　なるほど！　ということは・・・。』」**を学校教育目標に掲げ、大規模校の良さを生かしながら、「みんなで学び　みんなが育つ」の教育理念に基づき、子どもたちの生きる力の育成に取り組んでいます。今年度１月に学校評価アンケートを児童、保護者、職員に実施し、以下のように分析いたしました。今後の教育活動に生かしてまいります。

成果	確かな学力	「授業は分かりやすいか。」との問いに対し、低学年・高学年ともに肯定的な意見が９０%以上となりました。保護者の方からも、９２%以上と高い評価をいただき、教職員も授業の改善・見直しができつつあると自己評価しています。また、「学習の時間に、『なるほど？』と思うことがある。」の問いに対し、児童および保護者の方から８０%を超える肯定的な意見をいただきました。教職員の自己評価からも、問題解決的で協同化を意識した授業を展開することで児童が互いに意見を出し合い問題解決に取り組むことができたからだと考えられます。 今後も、児童が主体的に学習に取り組める環境を整えていきます。
	豊かな心	「クラスの友達は、みんなのことを大切にしようとしている。」との問いに対し、低学年・高学年ともに肯定的な意見が９０%以上となりました。保護者の方からも「人権に配慮したルールを指導している。」に肯定的なご意見を多くいただきました。また、自分を大切に思う児童が多く保護者の方からも約８８%の肯定的な意見をいただきました。 今後も児童の心情に寄り添い、教育相談の充実、いじめのない豊かな人間関係づくりに努めていきます。
	健やかな体	進んで体を動かす低学年児童の割合が高いです。朝ご飯を食べてから学校に登校する児童の割合が、昨年度同様９０%を超えました。学校での指導だけでなく、ご家庭においても児童の健やかな体作りに取り組んでいただいていることが集計結果に反映されています。 元気に外遊びをする児童も多く、マラソンや縄跳びなどで体力の向上に努めながら、引き続き健康に対する意識を向上させていけるよう学校でも指導していきます。
	危機管理	どの対象も８０%以上の数値でした。今後も、地域社会や学校の実情に合わせた訓練や安全教育を実施していきます。
	学校生活	低学年の「じぶんでできることがふえた」、高学年の「自分で考え、行動できることが増えた」児童の割合が、昨年度に比べ３%以上増えました。これからも子どもたちが、自分で考え行動できるように支援してきます。
課題	教育相談	学校生活アンケートや調査、教育相談、見守り等を通して、児童一人一人の悩みの対応に努めています。児童の中には、困ったことを先生に話していない児童の割合が、低学年１６%、高学年３６%程度います。SOSの出し方教育の実施や悩み事相談箱、悩み事相談員の周知・PR等など教員と児童の人間関係を一層、構築していけるように努めていきます。
	読書の習慣	読書の習慣化については、低学年では読書が好きな割合が増えていますが、昨年度に引き続き、本校の課題の一つです。読み聞かせ委員会やボランティアによる読み聞かせ、新刊図書の整備、「読書賞」の取組、「読書ビンゴ」等、今年度もさまざまな取組を実施してまいりました。 今後も図書館司書と連携しながら、児童が読書を好きになり読書の習慣化につながるような取組を計画・実施していきます。
	家庭との連携	学校での子どもたちの様子がわかるような家庭への連絡方法などについて、ご意見をいただきました。連絡アプリ「tetoru」や学校ホームページによる情報発信など、連絡方法を改善してきました。今後も、どのような連絡方法であればご家庭に学校での子どもたちの様子が伝わるか、検討・実施していきます。

【「%」の数字は、肯定的な意見（4…よくできた、3…できた）として回答した割合】

番号	項　目	小番号	保護者		教職員	
			評価内容	割合	評　価　内　容	割合
1	確かな学力	1	学校は、楽しい授業を行っている。	94.0%	問題解決的で、既習事項を活用する授業が展開できた。	94.1%
		2			個別化と協同化を意識した授業が展開できた。	82.4%
		3			社会や生活につながり、教室から外へと広がりのある授業が展開できた。	87.9%
		4	学校は、分かりやすい授業を行っている。	92.9%	論理性を意識した対話が充実している授業が展開できた	66.7%
		5			学習の見通しや課題内容が明確な授業が展開できた	94.1%
		6			振り返り活動が充実している授業が展開できた	76.5%
		7	子どもは、学習する中で「なんで？」と疑問をもつ様子が見られる。	71.5%	「なんで？」を実感させる発問・教材・題材の授業が展開できた。	87.9%
		8	子どもは、授業を通して「なるほど！」と感じることがある。	81.9%	「なるほど！」を実感させる授業が展開できた。	91.2%
		9	子どもは、授業で学んだことをもとに、「ということは・・・。」とさらに学ぼうという様子が見られる。	56.2%	「ということは・・・。」という深まりと発展・創造がある授業が展開できた。	73.5%
		10	子どもは、読書を楽しむ姿が見られる。	50.2%	読書の魅力や効果について指導している。	78.1%
		11	学校は、子どもの家庭学習を身に付けさせるために取り組んでいる。	78.7%	子どもの発達段階に合わせ、適切な家庭学習の指導をしている。	90.6%
		12	学校は、タブレットや大型テレビ等のICT機器を積極的に活用している。	80.2%	ICTを活用した授業が展開できた。	85.3%
2	豊かな心	13	子どもは、あいさつができている。	84.0%	基本的生活習慣（あいさつ、時間を守る、言葉遣い、態度等）が図られるように意識して指導している。	97.1%
		14	学校は、子ども理解に努め、いじめのない豊かな人間関係づくりに取り組んでいる。	88.7%	児童と児童の関係性（横糸）をつくる取組が充実した。	91.7%
		15	学校は、子どもが自分を大切に思えるよう取り組んでいる。	87.9%	子どもが自分を大切に思えるようにする指導が充実した。	96.9%
		16	学校は、人権に配慮したルールを指導している。	87.9%	人権に配慮したルールが学級に成立している。	96.7%
3	健やかな体	17	学校は、子どもの体力を向上させるために取り組んでいる。	83.7%	体力の増進、健康促進の指導をしている。	90.0%
		18	学校は、子どもが健康な生活を実践できるよう食育に取り組んでいる。	84.6%	健康な生活を実践するために食育について指導している。	66.7%
4	危機管理	19	学校は、児童の交通安全への意識向上のために取り組んでいる。	86.0%		
		20	学校は、危機管理（不審者対応・防災対応等）の意識向上のために取り組んでいる。	88.8%	非常時（不審者対応・交通事故防止・防災対応等）への指導を適切に行っている。	94.1%
5	学校生活	21	子どもは、自立して活動するようになっている。	84.6%	子どもが自立して活動するようになっている。	90.9%
		22	学校は、子どもの悩みや相談に対応するために適切に対応している。	87.5%	教師と児童の関係性（縦糸）をつくる取組が充実した。	91.7%
6	特別支援	23	学校は、個に応じた指導と必要な支援をしている。	87.1%	特別な支援や配慮が必要な児童に適切に対応している。	100%
7	家庭との連携	24	学校は、困ったときなどに相談に乗ってくれる。	91.2%	子どもや保護者の相談に適切に対応している。	100%
		25	学校は、子どもの様子がわかるように、電話や連絡帳で連絡をしている。	79.4%	家庭との連絡を適切に行っている。	93.9%
		26	学校は、学校の様子がわかるように、たよりやホームページ等で情報を伝える努力をしている。	88.5%		
		27	学校やPTAの行事内容は適切である。	81.9%		
8	地域学校協働活動	28	学校は、子どものために地域学校協働活動（ボランティアによる授業支援・補助等）を効果的に活用している。	85.6%	地域学校協働活動のボランティアを導入したことは有効であった	97.2%

今回の保護者アンケートでは、各設問の評価の他に、中央小をよりよくするためのご意見等をいただきました。ありがとうございました。

【危機管理】
下校時にふざけたり、信号のない横断歩道を確認しないでいきなり渡り出したり、危ない歩き方をしている子を見かけます。
⇒交通安全に関しては、教職員で学校周辺の通学路を確認し、児童が安全に歩くために気をつけるべきことを検討しました。その内容をもとに道路の歩き方や渡り方について、繰り返し指導をしているところです。今後も具体的な場面を示し、自ら考える安全教育を進めてまいります。

【学校行事】
中央フェスティバルを開催するなら、６年生送る会を保護者観覧で実施してほしかった。クラブや行事を減らすことが、子どもたちにとって良いのか検討してほしい。
⇒今年度、学習指導要領にあるクラブ活動のねらいに鑑み、クラブ活動の実施方法を変更して実施しました。６年生が学習発表会（中央フィスティバル）に向けて、下級生とどんな発表ができるかを考えてジャンルを決め、そこに興味のある４・５年生が集まり活動しました。異年齢の子どもたち同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むクラブ活動の実施をめざしました。また、子どもたちに関わる行事として、芸術鑑賞会やＡＮＡ航空教室、能楽教室、バレエ鑑賞・体験教室など、実際に見たり体験したりできる行事を計画・実施してきました。今後も、「結果」だけにとらわれるのではなく「過程」を大切にした教育を行い、子どもたちにとって達成感や充実感を得られる内容の行事を検討してまいります。

【家庭学習】
家に帰ってから宿題をしないので、家庭学習の習慣が定着するような指導をお願いしたい。
⇒宿題については、家庭学習の習慣化も目的の一つです。学習した内容を復習し定着を図る目的もありますが、子どもたちが目的をもち自分から家庭学習に取り組むような工夫を学校全体で実施できるよう検討してまいります。

【教育相談】
スマホの取り扱いについて、保護者が管理していないのか個人間のLINEで子ども向けでないサイトを送ってくる子がいました。
⇒携帯電話やスマートフォンの使用について、児童間でのＳＮＳ等のやりとりによるトラブルが発生しています。その際は、事実確認を速やかに行い、関係職員で情報を共有し組織的な対応を行っています。対応の中で保護者の方には、お子さんが使用している携帯電話やスマートフォンを十分に管理していただけるようお願いしています。今後も旭警察生活安全課などの他機関と連携し、児童を指導していきます。

【生活習慣】
ＰＴＡの活動中に「おはようございます」と声掛けしてもそのまま通り過ぎてしまう子が多く、残念でした。
⇒登校時や廊下ですれ違った時に元気よく進んで挨拶ができる児童も多いですが、個人差がまだあります。子どもは大人の姿を手本にしています。自分から挨拶することの良さを伝え、教職員が率先して気持ちのよい挨拶をして手本になるよう、これからも心がけてまいります。

【個人情報】
授業参観等で携帯電話のビデオ機能を使い録画している。ＳＮＳ等にあげられる可能があり、プライバシー、個人情報保護違反にあたるのではないか。
⇒学校では、個人で撮影した写真や動画をＳＮＳへ投稿することがないよう注意喚起を続けています。場合によっては個人情報保護や著作権の観点から、撮影を禁止しなければならない状況になることもあると思います。今後も、保護者の方へお願いや注意喚起を続けてまいります。

【その他（保護者アンケートについて）】
他にも、学校行事の実施方法、学習や生活、設備や環境等について改善の視点でのご意見を多数いただきました。来年度に向けて、一つ一つのご意見を大切に検討してまいります。今後も、保護者、地域、関係機関の皆様と連携しながら、よりよい中央小を目指していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。